

競技種目名	競技種目別大会参加人員等				種目数・階級等	外国人留学生の参加制限	
	競技種目別大会参加人員等						
	選手	補欠	マネ	監督			コーチ
1 陸上						種目数・階級等 100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mH・ 400mH・3000mSC・5000mH・4×100mR・4×400mR・走高跳・棒高跳・走幅跳 ・三段跳・砲丸投 ・円盤投・ハネ投・やり投・八種競技 (21種目) 外国人留学生は、1校男子4名・女子3名以 内とし、1種目1校1名の出場とする。(この 種目にはリレーも含む)但し、リレーに出場す る場合には、個人種目と合わせて男子は1校 最大4種目、女子は1校最大3種目。	
2 体操	4	2	1	7	床・鞍馬・吊り輪・跳馬・平行棒・鉄棒 (6種目) 砲馬・段懸・平行棒・平均台・床 (4種目)	・『団体』6名のうち1名 ・『個人』1名	
2 新体操	6	2	1	9	【個】 リング・ロープ 【個】 クラブ・リボン	・『団体』8名のうち1名 ・『個人』1名	
3 競泳					(自) 50m・100m・200m・400m・1500m (背) 100m・200m (平) 100m・200m (ノ) 100m・200m (胸メ) 200m・400m (ワ-R) 4×100m・4×200m (ト-R) 4×100m (自) 50m・100m・200m・400m・800m (平) 100m・200m (ノ) 100m・200m (背) 100m・200m (胸) 200m・400m (ワ-R) 4×100m・4×200m (ト-R) 4×100m	①地城大会で出場権を得られなかつた都府県は男女各11種目のみ ②附催県で4種100・200m及び胸メ ・自50mで出場権を得られなかつた場合男女各1名を推薦	・『団体』8名のうち1名 ・『個人』1名
3 飛込					全国大会特別出場措置あり(競泳・飛込)	【飛込飛込3m】 男子11種技・女子10種技 【高飛込】 男子10種技・女子9種技	
4 水球	1 3 上位2位= (北海道・東北・東海、北信越、中国) 上位3位= (近畿、九州)、関東上位4位、四国上位1位		1	1 4	・開催県に1チーム ・開催県不出場並びに地域予選出場チーム数が地域枠未満の場合は協議し、20チームとする		
4 バスケットボール	1 2		1	1 5	・開催県は男女+1 ・男子の北海道・東京・神奈川・愛知・大阪、 女子の東京・神奈川・大阪は+1	・1 2名中2名まで、但し、コートには5名中1名	
5 バレーボール	1 2		1	1 5	・開催県は男女+1 ・男子の東京、女子の北海道・東京・神奈川・大阪は+1	・1 2名中2名まで、但し、コートには6名中1名	

競技種目名	競技人員 (エントリー数)					種目数・階級等	外国人の参加制限
	個人						
	選手	補欠	マネ	監督	コーチ		
卓球	4			1	5	・開催県男女【国】+1 ・ " " 【S】+4 ・ " " 【D】+2	・全国卓球専門部規定 第1条大会運営規程 「5. 外国籍選手の大会出場制限」による
	～7				～8		
6 卓球	2チーム出場都道府県						
	男子の東京					【S男】⑥愛知・東京⑥兵庫・埼玉・北海道・千葉・神奈川・大阪⑤静岡・福岡 他は④ 開催県増加分④	
	開催県+1					【S女】⑥愛知⑦東京・兵庫⑥埼玉・静岡⑤北海道・千葉・福岡・宮城・福島・茨城・神奈川 他は④ 開催県増加分④	
						【D男】④愛知・東京③兵庫・北海道・大阪・神奈川・千葉・静岡 他は② 開催県増加分②	
						【D女】④愛知・兵庫③東京・埼玉・北海道 他は② 開催県増加分②	
7 ソフトテニス	6			1	7	・各都道府県男女各6～7以内 ・開催県は【国】男女+1、【個】男女+2	
	～8				～9	・次の都道府県は男女8組 北海道・宮城・埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・大阪・兵庫・広島・福岡	
8 ハンドボール	14				17	・前年度ペアまたは、チームでベスト8以上に入った都道府県 ・開催県は男女+1チーム	
9 サッカー	17			1	19	・開催県+1チーム 北海道・東京・神奈川・大阪は+1チーム 東北・東海、九州は+1、関東は+2、開催県+1	
						女子：各地域チーム	
10 バドミントン	5				8	【S】各都道府県2名 【D】各都道府県2組	
	～7			1	1	開催県【国】男女各+1チーム 【個SD】+2 【国】男子 北海道・東京+1チーム 女子 北海道・東京・神奈川+1チーム 【個SD】北海道・東京 +2	
11 ソフトボール	17			1	20	・開催県+1チーム	
12 相撲	7			1	9	【個人戦】各都道府県優勝者1名と専門部推薦2名の計3名 ・開催県【国】+1チーム 【個人団体】各都道府県各階級優勝者 【国】+1チーム 【個】+1チーム	
13 柔道	男	5	1	1	7	・各都道府県各階級1名 (7階級)	①60kg ②66kg ③73kg ④81kg ⑤90kg ⑥100kg ⑦100kg超
	女	3	1	1	5	・各都道府県各階級1名 (7階級)	①48kg ②52kg ③57kg ④63kg ⑤70kg ⑥78kg ⑦78kg超
14 ボート	舵	5	2	1	8	・開催県は各種目+1クルー	① 舵手付きクォドルプル (4×+)
	D	2	1	1	4	但し、同一校、同一種目 2クルーの出場は不可	② ダブルスカル (2×)
	S	1	1	1	2		③ シングルスカル (1×)
15 剣道	5	2		1	8	・開催県【国】+1チーム 【個】+2名	・団体は7名中2名以内 ・個人は参加制限なし
16 レスリング	男	11		1	12	・【国】開催県+1チーム ・【個】開催県各階級+1名	・団体は、登録2名以内、出場1名以内 ・個人は学校1名
	女					・【個】開催県各階級+1名 ・全国9プロックから推薦を受けた者	
17 弓道	6			1	7	・開催県【国】+1チーム、【個】+2名	

競技種目名	競技人員 (エントリ人数)					出場枠の特例	種目数・階級等	外国人の参加制限		
	個人									
	選手	補欠	マネ	監督	コーチ				合計	
18 テニス	5			1		6	【S】 各都道府県2名(128) 【D】 各都道府県1組(64)	・ 男子の東京・大阪・神奈川・女子の東京・大阪+1		
19 登山	4			1		5	・ 参加選手数は450名以内 (前年度の登録校数に基づきブロックに配分) ・ 1校7名以内 ・ トラック1名1種目、団体は1種目か1種目 ・ ロードレース1名1種目 ・ 個人ロード・ブロック選出枠、1校3名以内 ・ 参加選手数は50名以内 (各ブロック定数1、ブロック大会エントリ人数により配分) ・ 1校4名以内 ・ トラック1名1種目 ・ 個人ロード・ブロック選出枠、1校3名以内	・ 開催県男女各+1校1バーティナー ・ 開催県【団】+1チーム		
20 自転車							・ 参加選手数は50名以内 (各ブロック定数1、ブロック大会エントリ人数により配分) ・ 1校4名以内 ・ トラック1名1種目 ・ 個人ロード・ブロック選出枠、1校3名以内	トラック・レース ①1km④4km⑤10km⑥15km⑦20km⑧25km⑨30km⑩40km⑪50km⑫60km⑬70km⑭80km⑮90km⑯100km⑰110km⑱120km⑲130km⑳140km㉑150km㉒160km㉓170km㉔180km㉕190km㉖200km ロード・レース ㉗個人ロード・レース ㉘個人ロード・レース	・ 1校6~7名の場合2名 1校5名以下の場合1名	
21 ボクシング							・ 各都道府県各階級1名	・ 開催県は1名追加	トラック・レース ①500m②1km③2km④3km⑤4km⑥5km⑦6km⑧7km⑨8km⑩9km⑪10km⑫11km⑬12km⑭13km⑮14km⑯15km⑰16km⑱17km⑲18km⑳19km㉑20km㉒21km㉓22km㉔23km㉕24km㉖25km㉗26km㉘27km㉙28km㉚29km㉛30km ロード・レース ①500m②1km③2km④3km⑤4km⑥5km⑦6km⑧7km⑨8km⑩9km⑪10km⑫11km⑬12km⑭13km⑮14km⑯15km⑰16km⑱17km⑲18km⑳19km㉑20km㉒21km㉓22km㉔23km㉕24km㉖25km㉗26km㉘27km㉙28km㉚29km㉛30km 個人ロード・レース ①500m②1km③2km④3km⑤4km⑥5km⑦6km⑧7km⑨8km⑩9km⑪10km⑫11km⑬12km⑭13km⑮14km⑯15km⑰16km⑱17km⑲18km⑳19km㉑20km㉒21km㉓22km㉔23km㉕24km㉖25km㉗26km㉘27km㉙28km㉚29km㉛30km	・ エントリー数20%
22 ホッケー	15			1	1引率 (コーチ・ リザーブ・ ベンチワ ンチ等可)	17~ 22	・ 各階級3名以内、合計7名以内 ・ 前年度実績による特別枠の割当てあり ・ 各階級2名以内、合計2名以内 ・ 前年度実績による特別枠の割当てあり	・ 男子27校+開催県1校(計28校) ・ 女子19校+開催県1校(計20校)	・ エントリーは15名中3名以内、但し、試合出場は2名以内	
23 ギョウギ							・ 各階級3名以内、合計7名以内 ・ 前年度実績による特別枠の割当てあり ・ 各階級2名以内、合計2名以内 ・ 前年度実績による特別枠の割当てあり	・ 開催県は各階級3名以内で合計12名以内 ・ 開催県は各階級2名以内で合計4名以内	①55kg ②61kg ③67kg ④73kg ⑤81kg ⑥89kg ⑦96kg ⑧102kg ⑨110kg (9階級) ①45kg ②49kg ③55kg ④59kg ⑤64kg ⑥71kg ⑦76kg ⑧81kg (8階級)	・ 各都道府県2名以内 ・ 同一校も2名以内
24 ヨット							420級：北海道② 東北③ 関東④ 近畿⑤ 中国⑥ 四国⑦ 九州⑧ 計47チーム レザラック級：北海道① 東北② 関東③ 近畿④ 中国⑤ 四国⑥ 九州⑦ 計32チーム 420級：北海道① 東北② 関東③ 近畿④ 中国⑤ 四国⑥ 九州⑦ 計32チーム レザラック級：北海道① 東北② 関東③ 近畿④ 中国⑤ 四国⑥ 九州⑦ 計23チーム	・ 開催県は当該県高体連会長の推薦があれば、水城子選に出場した種目に限り+1 ・ 1校各種目2艇以内	・ 420級 ・ レザラック級	
25 フェンシング	5			1		6	・ フルレー ・ エペ・サーブル=各県それぞれ1名以内 ・ 1人2種目以内 ただし、エペ・サーブルの2種目参加は不可	・ 開催県【団】男女各+1 ・ 【団】エリートアカデミー生能が出場権を獲得した場合、その県に同数の出場枠	【団】1名まで認める (※ エリートアカデミー生能は1名まで認める) 【個】1校男女各1名まで認める	
26 空手道	5			1		9	・ 個人組手 各県2名以内 ・ 個人形 各県2名以内	・ 開催県【団】+1 【個人組手】+2 【個人形】+2	【団】正選手の過半数を越えない範囲	

競技種目名	競技人員 (エントリー数)						種目数・階級等	外国人の参加制限		
	団 体			個 人	出場者の特例	種目数・階級等				
	選手	補欠	マネ						監督	コーチ
27 アーチエリー	3	1		1	1	引率	7	・開催果【団】+1 【個人】+1	【団】1名まで認める	
28 なぎなた	7			1			8	・開催果【団】+1 【個人試合】+2 【個人演技】+2	団体試合・個人試合・演技	
29 カヌー								・各種目とも各都道府県予選 第位のもの ・500mと200m競技は同一選手 ・種目の重複出場は可	男子 K1 K2 K4 (500mおよび200m) C1 C2 C4 (500mおよび200m) 女子 K1 K2 K4 (500mおよび200m)	
30 少林寺拳法	6	2		1	1		10	・開催果【単独演武】+2名 【組演武】+2組 【団体演武】+1チーム	単独演武・組演武・団体演武 (組演武・単独演武は一人一種目)	